

殿橋・明代橋の長寿命化

岡崎の中心市街地に架かる殿橋と明代橋は、昭和2年、昭和12年に建設され、既に80年余りが経過しています。

私が提唱したツインブリッジ計画では、管理者である愛知県が老朽化した橋の架け替え工事を行う際に、十分なリースペースを持った、岡崎の顔としてふさわしいものに再整備するとい

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

うものでした。しかし、県は橋の架け替えは行わず、補修工事による長寿命化を決定したため、本市としても現在の橋の特徴を最大限活かすことにしました。特に殿橋は、公益社団法人土木学会の近代土木遺産に選ばれており、歴史資産を活かしたまちづくりを進めるためにも、昭和の意匠を後世に残す意義も大きいと考えています。併せて、二つの橋のライトアップにより、夜の乙川周辺の雰囲気も一新できると思っています。老朽化が進んでいる殿橋は、今年度より耐震対策など近代土木遺産として意義を活かした補修工事を県と協同で行います。明代橋も今後改修に向けて調査が行われる予定です。

将来、架け替えの際には、殿橋は「石の橋」、明代橋は「緑の橋」のイメージで、本市の新たなシンボルにしたいと考えています。